

いのちの尊さと支え合いの大切さを忘れない… ～阪神淡路大震災から18年～

阪神淡路大震災で亡くなられた方々への慰霊と鎮魂、そして震災から生まれた「きずな・支え合う心」を語り継いでいくため、来年1月17日に震災18年の「阪神淡路大震災1.17のつどい」が開催されます。宍粟市からも竹筒やろうソクをお届けしたいと思いますので、みなさまのご協力をお願いします。

竹筒とろうソクの提供をお願いします

竹筒 長さ40cm～60cm、直径10cm
上部は約45度にカットします。

ろうソク 不用なろうソクをご提供ください。
色や模様がついたもの、どのような形のものでもかまいません。

ろうソク作り参加者募集

みなさまから寄せられたろうソクを水に浮かぶろうソクに作り変えます。作ったろうソクは、「1.17のつどい」で竹筒に浮かべられ「希望の灯り」として灯されます。

日 時:11月27日(火)午前9時～11時30分
会 場:千種保健福祉センター屋内運動施設
持ち物:ろうソク、軍手 お申込み:千種支部

●「1.17メモリアルウォーク(神戸市)」への参加
についての詳細は、来月号にてお知らせします。

お問合せ 各支部

ボランティア
センター日誌

歌のパワーをもらって



南京玉すだれや、踊りも披露。楽しいひとときでした

10月25日(木) 波賀ボランティアのつどい

メイプル福祉センターにて、波賀ボランティア連絡会がボランティアのつどいを開催しました。

今回の内容は、日頃のグループ活動を紹介しようということで、『波賀民謡会』の皆さんが施設慰問活動のプログラムを再現しました。三味線の音色や力強い歌声に、集まった40名の参加者からは、自然と歌声や手拍子が聞かれました。

「同じ町で活動していても、じっくり聞いたのは初めて。活動が分かって良かった」「イキイキされていて、自分たちも頑張らなければ」など、交流とボランティア同士の再発見の機会となりました。

民謡会の皆さん、これからも歌で元気を届けてください。
(波賀支部 草田希望)

ヘルマンハープの音色に感動!



取材に行った私もその音色に時が経つのを忘れ…

10月29日(月) 染河内小オープンスクール

染河内小学校では、朗読ボランティアのみなさんが“ふるさと先生”(地元の豊かな人材)として、児童たちに読み聞かせ(絵本等)を行っている。

今回、オープンスクールの時間に、読み聞かせと珍しい楽器のコラボレーションがあると聞き学校を訪れた。楽器の名前は「ヘルマンハープ」。

メンバーの橋本都子さん(福田)は、昨年、姫路の演奏会でヘルマンハープを聞いてその音色に感動。仲間に声をかけ、ハープグループ『トウツティしそう』を結成し、現在5人で練習を続けている。

演奏を聞いた児童たちは「きれいな音でびっくりした」「やさしい音だった」と感想を語った。グループのみなさん、これからもやさしい音色をたくさんの人に届けてください。
(本部 前野瑞恵)